

令和8年7月16日
独立行政法人水資源機構
関西・吉野川支社吉野川本部
吉野川上流総合管理所
早明浦ダム再生事業推進室

令和8年度 早明浦ダム再生事業費等監理委員会を開催しました (審議結果の公表)

独立行政法人水資源機構関西・吉野川支社吉野川本部及び吉野川上流総合管理所は、早明浦ダム再生事業における適切な事業執行の観点から、コスト縮減策やその実施状況、事業執行等について、専門家等より意見・提言をいただくことを目的とした「早明浦ダム再生事業費等監理委員会」を開催しました。

1. 開催日時： 令和8年7月15日（水） 10:30～12:00
2. 開催場所： 早明浦ダム・高知分水管理所 ふれあいホール
(高知県土佐郡土佐町田井6591-5)
3. 審議概要： 早明浦ダム再生事業の概要、令和7年度早明浦ダム再生事業費等監理委員会における主な意見と対応状況、令和7年度・令和8年度の実施概要、事業の進捗状況、事業の見通しについて、事務局より説明を行い、委員の方々より意見・助言をいただきました。
4. 審議結果： 別紙1のとおり
5. 審議資料： 別紙2のとおり

お問い合わせ先：独立行政法人水資源機構 関西・吉野川支社吉野川本部
総務課長 中島(なかじま)、企画調整課長 富安(とみやす)
【電話】087(835)6600(代表)

令和8年度 早明浦ダム再生事業費等監理委員会 審 議 結 果

別 紙 1

- 今後の物価変動や予測し得ない事態等について注視し、事業に与える影響を見通した上で、速やかに委員会に諮ること。
- 事業費監理に密接に関係する工程管理、工事間の調整を着実に行うことに加え、今後の工事の進捗見通しについて分かりやすく表示すること。
- 現場状況の変化に即応しながら、現場で出てくるアイデア等を踏まえ、コスト意識を持って設計・検討・工事進捗をはかること。

令和8年度 早明浦ダム再生事業費等監理委員会

早明浦ダム再生事業の概要について

令和8年7月15日

独立行政法人水資源機構

1. 事業の概要



早明浦ダム



増設放流設備

放流設備の増設イメージ

○水系河川名

吉野川水系吉野川

○場 所

右岸:高知県 土佐郡 土佐町

左岸:高知県 長岡郡 本山町

○目 的

既設:洪水調節、流水の正常な機能の維持、
かんがい用水の供給、水道用水の供給、
工業用水の供給、発電

再生:治水機能を向上させ、
吉野川の洪水による被害の軽減を図る

○諸 元

既設:堤高 106m、総貯水容量3億1,600万m³

再生:放流設備の増設、容量振替

○工 期 平成30年度～令和10年度

○総事業費及び進捗状況

総事業費	約 500 億円
令和7年度迄執行額	約 238 億円
令和8年度予算額	約48.6 億円

2. 事業の経緯

◆沿革

平成17年度 吉野川水系河川整備基本方針 策定(H17.11.18)

平成21年度 吉野川水系河川整備計画 策定(H21.8.28)

平成29年度 吉野川上流部における治水対策の計画段階評価(H29.7.3)
吉野川上流部における治水対策の計画段階評価 対応方針決定(H29.7.14)

平成30年度予算に係るダム事業の新規事業採択時評価(H29.8.10)
平成30年度予算に係るダム事業の新規事業採択時評価 対応方針決定(H29.8.29)

吉野川水系河川整備計画【変更】(H29.12.20)
吉野川水系における水資源開発基本計画(一部変更)(H30.3.27)
早明浦ダム再生事業に関する事業実施計画 認可(H30.3.30)

平成30年度 早明浦ダム再生事業着手(H30.4.1)
「平成30年度早明浦ダム再生事業費等監理委員会」設立・開催(H30.8.9)

令和 元年度 吉野川水系における水資源開発基本計画(全部変更)(H31.4.19)
「令和元年度早明浦ダム再生事業費等監理委員会」開催(R元.7.18)

令和 2年度 「令和2年度早明浦ダム再生事業費等監理委員会」開催(R2.8.3)

令和 3年度 「令和3年度早明浦ダム再生事業費等監理委員会」開催(R3.7.20)

令和 4年度 「令和4年度早明浦ダム再生事業費等監理委員会」開催(R4.5.30)
利水容量の700万m³を洪水調節容量へ振替(R4.7.1)
令和5年度予算概算要求に係る再評価 対応方針「継続」決定(R4.8月)

2. 事業の経緯

◆沿革

令和 5年度 本体関連工事(主要3工事)の契約(R5.4月)

「令和5年度早明浦ダム再生事業費等監理委員会」開催(R5.7. 21)

令和 6年度 「令和6年度早明浦ダム再生事業費等監理委員会」開催(R6.7. 4)

吉野川学識者会議 事業費変更に係る再評価 (R6.7. 18)

令和6年度第1回事業評価監視委員会 河川事業再評価(報告)(R6.8.2)

早明浦ダム再生事業に関する事業実施計画の変更 認可(R6.8.19)

総事業費変更に係る再評価 対応方針「継続」決定(R6.8月)

令和 7年度 「令和7年度早明浦ダム再生事業費等監理委員会」開催(R7.7. 2)

3. 事業の目的

◆事業の目的

<吉野川における治水事業の目標>

①達成すべき政策目標

- 吉野川の治水安全度の向上

②具体的な達成目標(吉野川水系河川整備計画)

- 戦後最大流量を記録し、甚大な浸水被害を発生させた、平成16年10月の台風23号と同規模の洪水に対し、吉野川の氾濫による浸水被害を防止する。

<早明浦ダム再生事業の目的(事業実施計画)>

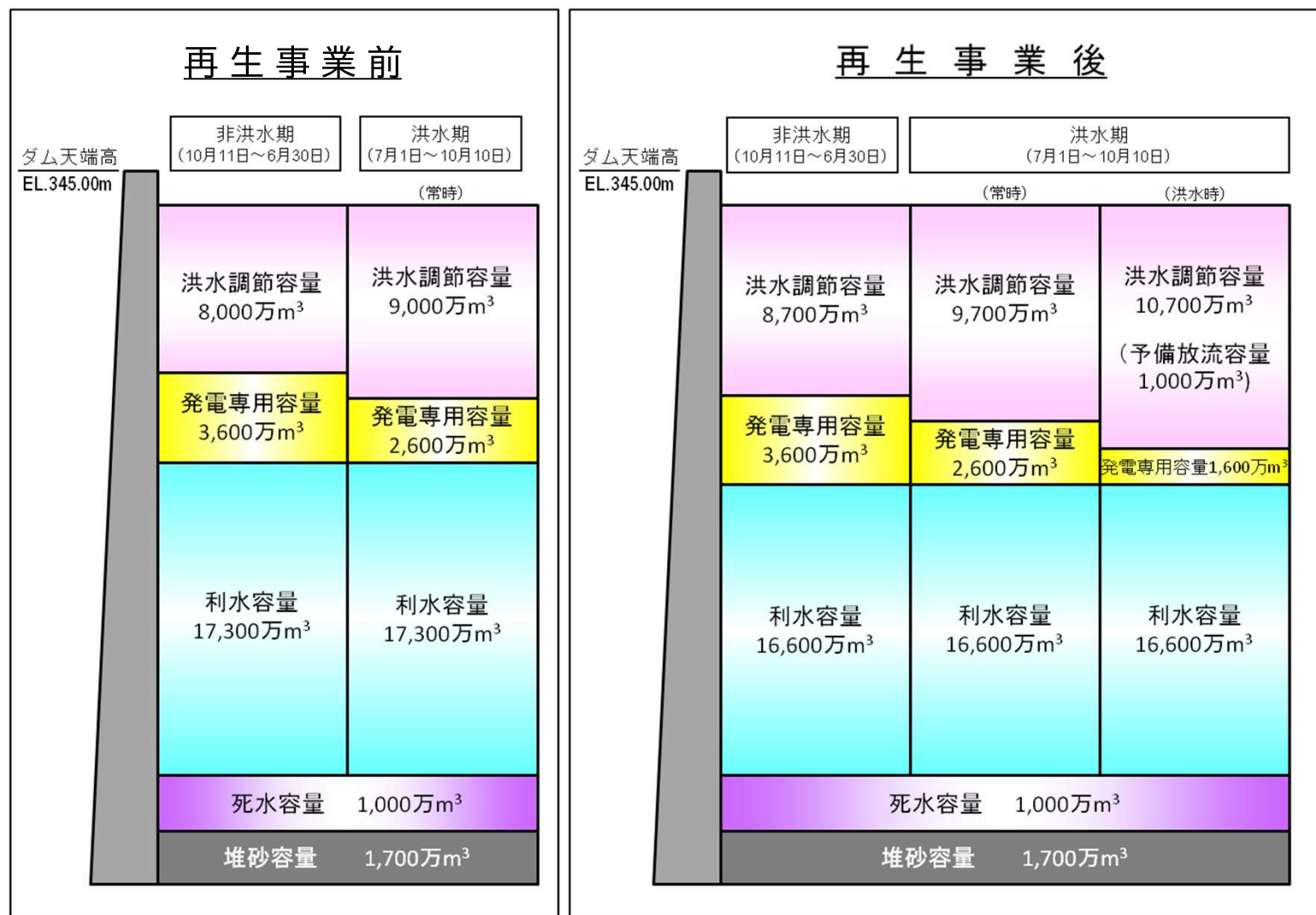
③事業の目的

- 水の安定的な供給を確保することを目的として、「吉野川水系における水資源開発基本計画」に基づき整備した特定施設である早明浦ダムについて、治水機能を向上させる改築事業を行い、吉野川の洪水による被害の軽減を図る。

4. 事業の内容

◆貯水池容量配分の変更

現状の利水安全度を確保しつつ、不特定補給の運用を見直すことに伴って利水容量から洪水調節容量に振り替えることで容量(700万 m^3)を確保する※とともに、予備放流方式の導入(1,000万 m^3)より、洪水調節容量を現行の9,000万 m^3 から10,700万 m^3 に増大。



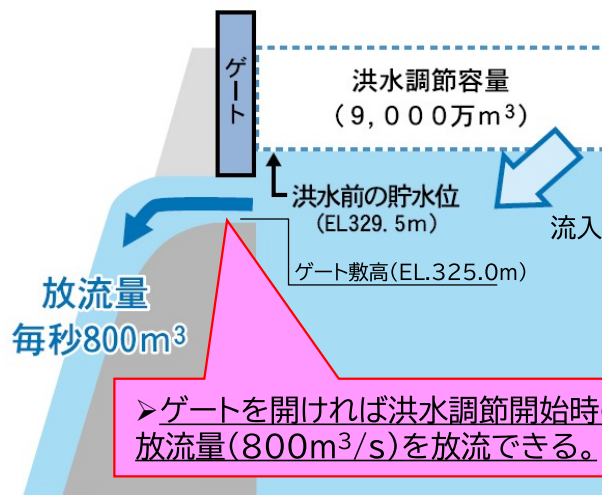
※利水容量700万 m^3 の
洪水調節容量へ振替は
R4年7月1日から実施

4. 事業の内容

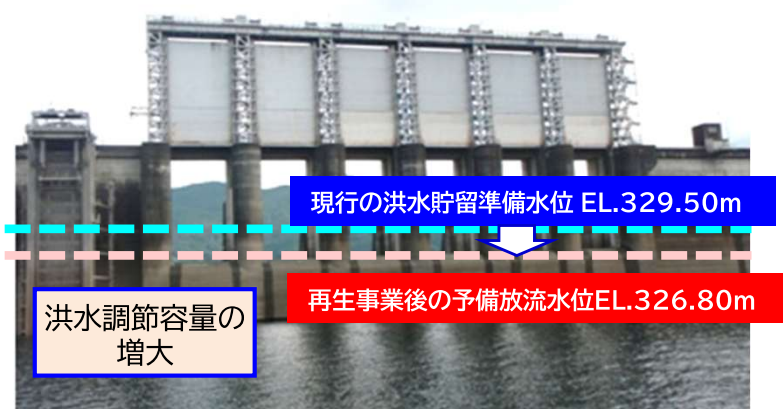
◆洪水調節能力の増強

水位低下に伴って不足する放流能力を補うため放流管を増設。

再生事業前の放流イメージ

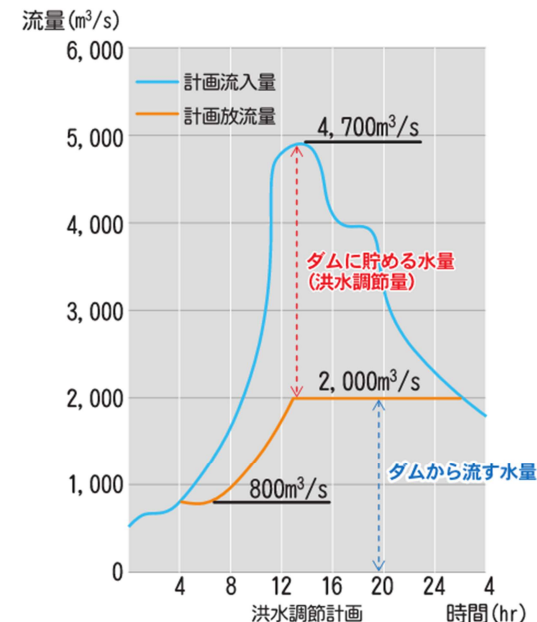
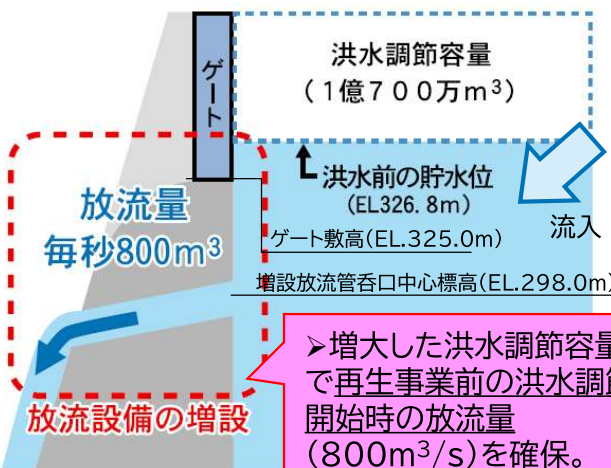
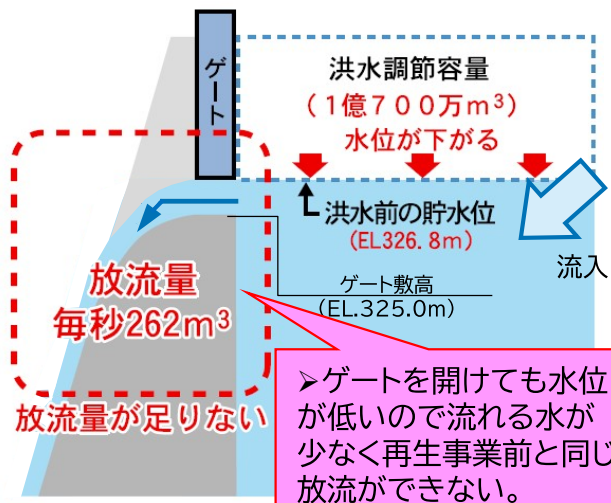


増大した洪水調節容量を活用するため、予備放流を行い、洪水になるまでの間、ダムに水を貯めないようにするため、低い貯水位でも放流できる設備が必要。



クレストゲートと洪水貯留準備水位の関係

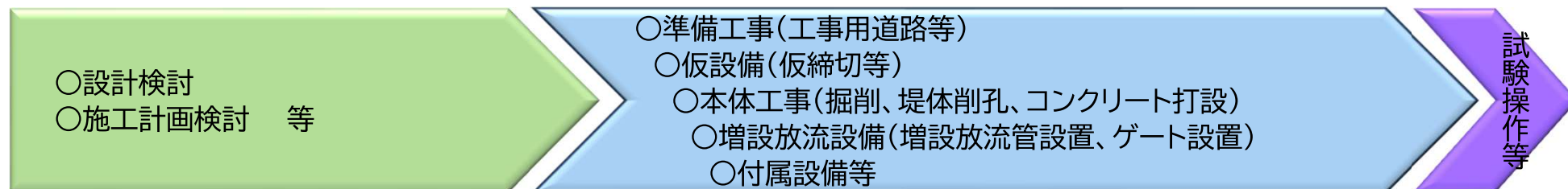
再生事業後の放流イメージ



洪水調節計画図

5. 進捗状況

①実施手順



②進捗状況

準備工事 (工事用道路約1.5km)	工事用道路100%					
本体工事	掘削 (約12万m3／約16万m3)		堤体削孔 (約113m／120m)		コンクリート打設 (約7万m3／約18万m3)	
増設放流設備	増設放流管製作・設置			主ゲート製作・設置		
	3号	2号	1号	3号	2号	1号
付属設備等	電気設備		建物		エレベータ	
特殊補償	減電補償 100%					

完成

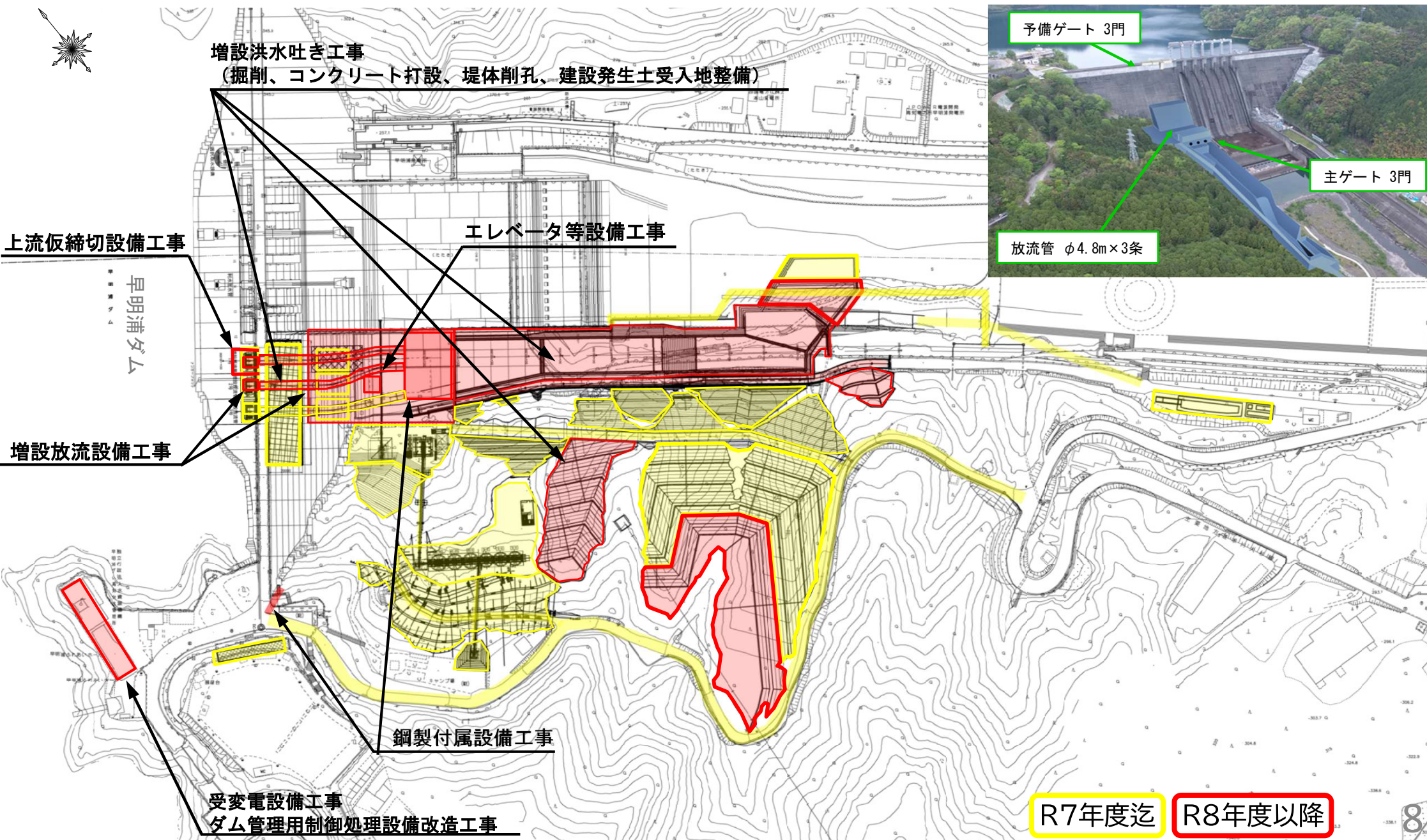
工事中

--着手済

----完了

(令和8年6月末時点)

5. 進捗状況



3.令和7年度の実施内容

▶令和7年度事業費・・・7,887百万円(予算額)

＜本体準備工事、本体工事等＞

- ① 増設洪水吐き工事、増設放流設備工事及び上流仮締切工事を実施。

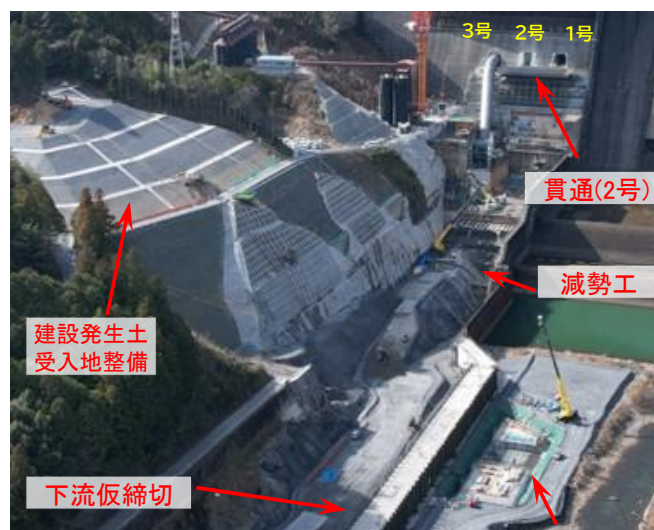
＜設計・検討等＞

- ① ダム管理用制御設備の設計を実施。
- ② 事業後の跡地整備(原形復旧)の検討・設計を実施。
- ③ 基礎地盤検査に必要な資料作成を実施。

＜環境調査など調査＞

- ① 学識経験者からの指導、助言に基づき策定した環境モニタリング計画に基づき、環境モニタリングを実施。

本体工事



増設洪水吐き工事

河道処理工



増設放流設備工事



上流仮締切工事

4.令和8年度の実施内容

▶令和8年度事業費・・・4,858百万円(予算額)

<本体工事等>

- ① 増設洪水吐き工事、増設放流設備工事及び上流仮締切工事を実施。
- ② 受変電設備、予備発電設備の製作を実施。

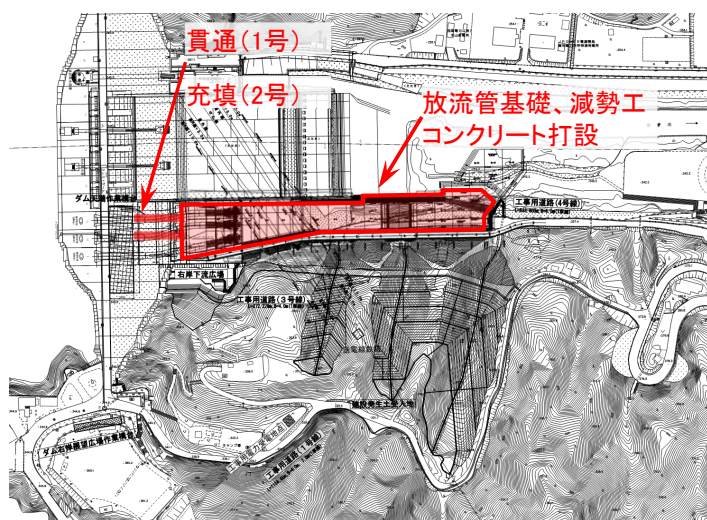
<設計・検討等>

- ① 事業後の跡地整備(原形復旧)の検討・設計を実施。
- ② 基礎地盤検査に必要な資料作成を実施。

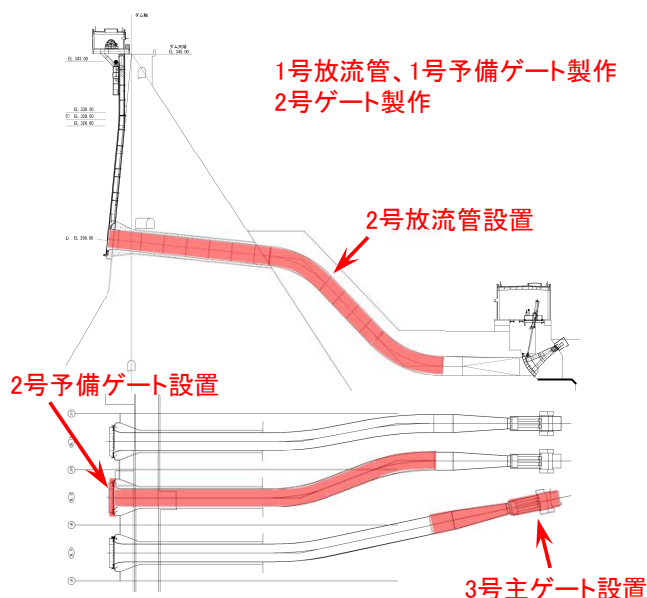
<環境調査など調査>

- ① 学識経験者からの指導、助言に基づき策定した環境モニタリング計画に基づき、環境モニタリングを実施。

本体工事



増設洪水吐き工事



増設放流設備工事



上流仮締切工事